

首都直下地震が今日起きたら、計画の何%が動くのか | 2026年基本計画を『実装率』から読み解く

Published: 2026-08-24 / Updated: 2026-08-24

Summary

2026年6月12日閣議決定の首都直下地震緊急対策推進基本計画を、政府公表の現状値・目標値・復旧条件から『今日使える能力』として読み解く記事です。M7クラス19地震、避難者約480万人、帰宅困難者約840万人、家庭の簡易トイレ備蓄27%、社会福祉施設の3日分電力対策12%、物流拠点電源19.7%、中堅企業BCP54.8%等を比較し、熊本地震の実災害記録を踏まえて、実装率、ボトルネック、事前分散、V OIへ接続します。

Key Points

- 2026年基本計画には12%、19.7%、27%、54.8%など完成途上の指標が並びます。本稿は単一の平均値ではなく、今日使える能力と、どこが0になると全体が止まるかを確認します。解は、ボトルネックから先に実装し、動ける平時に人・権限・データ・電源・物流・受入先を分散することです。
- 『皆が動けば、皆が動けなくなる』、在宅避難、家庭備蓄率、BCP策定率、社会福祉施設・物流拠点の電源対策、広域的避難、二地域居住・テレワーク等
- 南関東のM7クラス地震の30年以内70%程度、発生場所が特定されていないこと、19地震の想定
- 都心南部直下地震の死者約1.8万人、避難者約480万人、帰宅困難者約840万人、全壊・焼失約40万棟等
- 都内の避難所約3,200か所、福祉避難所約1,600か所、収容人数約280万人
- 真夏の停電・冷房設備不足等により、指定避難所等の少なくとも23か所が開設できない・機能しない事態
- 2026年8月23日02時00分頃、茨城県南部、深さ70km、M5.9、最大震度5弱
- 令和8年熊本地震で電気・通信・水・道路・燃料・医療・福祉・避難機能が同じ地域で同時に低下した時系列

Sources / References

Primary Source

内閣府『首都直下地震緊急対策推進基本計画』令和8年6月12日閣議決定

URL: https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/pdf/syuto_keikaku_20260612.pdf

内閣府『首都直下地震（被害想定の対象とする地震・M7クラス）』

URL: https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/taisaku_wg_02/pdf/r7houkoku2.pdf

内閣府『首都直下地震対策検討ワーキンググループ報告書概要』

URL: https://www.bousai.go.jp/jishin/pdf/r8_shiryo5.pdf

東京都防災ホームページ『避難所及び避難場所』

URL: <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000026/1000316.html>

Secondary

NHK NEWS WEB 令和8年熊本地震の避難所・冷房に関する報道

URL: <https://news.web.nhk/newsweb/na/na-k10015196381000>

Primary Source

気象庁『緊急地震速報（予報）発表状況 2026年8月23日02時00分 茨城県南部』

URL: https://www.data.jma.go.jp/eww/data/nc/fc_hist/2026/08/20260823020050/index.html

Implementation

慧通信技術工業株式会社『BCP「72時間」の根拠は何か？ | 令和8年熊本地震にみる循環障害と24時間の避難判断』

URL: <https://www.ieee802.co.jp/articles/article-207-kumamoto-earthquake.php>

Company

慧通信技術工業株式会社『何も起こらないことに、価値がある。』

URL: <https://www.ieee802.co.jp/strategy/voi/>

Source Article

<https://www.ieee802.co.jp/articles/article-212-tokyo-inland-earthquake.php>

© Kei Communication Technology Inc.

This document is a summary of the source article. For the latest information, refer to the source URL.